

新たな保育園「おひさま保育園」が誕生

少子高齢化が進む中、4月3日（火）、村内の3つ保育園が統合し、新しい保育園が、旧さくら保育園跡地に誕生しました。

当日は、新しい園舎において、開園式と入園式が行われ、総勢140名の園児により新しい保育園の歴史に幕が開きました。

園名は、「園児全員に平等に陽が当たり、すすすすく育ってほしい」という願いや「旧ひまわり、さくら、やまぶき保育園」の各一字を取った「おひさま保育園」となりました。

また、看護師や管理栄養士が常駐することで、建物だけではなく、保育環境も充実されました。

新しい園舎の下、園児が元気いっぱいに育つ姿が想像されます。



保育園名はおひさま保育園



保育園の全体写真



高社山の残雪。手前にも残雪山が…。

雪が解けず農作業に影響か

4月に入っても降り続ける雪の影響で、例年であれば3月には消える雪も、村内各地で残雪が見られます。村内の排雪場所には、大量の雪が消えずに残っており、大雪だった今年の冬が想像されます。

4月は、これからの農作業に向けた準備の月にも関わらず、残雪対策に農家の皆さんは頭を痛めているかもしれないかもしれません。皆さんも、木島平へ帰省されてこれから忙しくなる農作業のお手伝いをしてみてもいいでしょうか？

ふるさと木島平の思い出

埼玉県草加市 芳川浩治

私は、往郷の馬曲集落の出身です。

私が育った昭和30年頃は、49軒程の家があり、大家族が多くまだ活気がありました。5年生まで平沢の皆さんと戸立岩分校で学び、6年生からは片道約4キロの本校へ通い、冬季は又分校へ戻るといふ学校生活でした。

中学生の冬季は、学校併設の寄宿舎があり泊まり込みの団体生活を体験しました。夏休みには、馬曲川を塞ぎ止めて水浴びをし、冷えると大きな石に抱き付いて温まったものです。田園風景が広がる山の沢に入り、サンショウウオをつかまえて遊んだのも楽しい思い出です。

現在、馬曲には、少しの宅地と荒れた農地と墓地があるだけで生家がない為、同級会での帰省と、年に数回の墓参が村を訪れる数少ない機会になりました。過疎化が進む故郷の発展を心から祈念しています。



昭和28年ごろ 戸立岩分校教場にて
馬曲集落の同級生と私（左側）

先人が勝ち取った村の歴史を村民が「村芝居」として演じます。

村芝居「長坂織部の江戸日記」

水は上から下に流れるだけのものではありません。そこには、必ず歴史があるのです。米どころ木島平にも、水を確保するための激しい争いがありました。時は、今から三百年以上も昔の話。木島平を流れる「樽川」の水源を巡り激しい争いが起こりました。その争いの中心となり、木島平の「水」を守った人物が「長坂織部」。隣村との訴訟を、その賢明な知能と六十歳とは思えない強靱な体力を用いて勝訴し、木島平に豊富な水をもたらしてくれました。「長坂織部」がいなければ、「樽川」も木島平の里を流れなかつた。かもしれないのです。三一五年前の元禄八年から約四年間に渡る先人たちの努力と苦勞が村芝居となりました。

日時 4月28日(土)
午後6時30分 開場
午後7時 開演
場所 木島平村体育館
料金 家族券 1,000円
大人券 500円

※当日券あります。

